



毎日どこかのフロアで行っているおやつづくり。利用者を大切にする姿勢も、インスタグラムの投稿が共感を生んでいる理由の1つです

さらに同業者のあいだでも注目のまど。中島さんの元には、週に一度くらいのペースでさまざまな相談や質問が寄せられます。

「たくさんの方たちに注目していただけるのは、とてもありがたいこと。職員1人ひとりのモチベーションも大きく上がっています」と中島さん。フォロワー数が急増して以降、以前よりも利用者の身だしなみに気を配るようになったスタッフや、介護ス

キルを上げようがんばるスタッフが増え、理想的な相乗効果を生み出しているところほほ笑みます。

「わたしのおじいちゃんも、この施設だったらもっと楽しく過ごせたの」という一言が、強く心に残っているという中島さん。フォロワーの中には、自分のおじいちゃんやおばあちゃんのことを重ね合わせて見ている方が少なくないのかもしれない。

SNSでの注目度の高さを地域貢献に生かしたい

こうしたSNSを利用した取り組みは、市内でも知られ大きな反響を呼んでいます。同所では以前から地元和菓子店や洋菓子店などの協力を得て、定期的に菓子づくりのデモンストレーションイベントなどを行っていました。インスタグラムで注目されるようになってからは、地域のさまざまな団体から慰問の申し出が急増。これまでに市内のフラダンス教室や琴の先生、アロママッサージ師などが同所を訪れ、利用者の人たちに楽しい時間を提供しています。

「いろいろな人と知り合うことができ、地域の中に新しいつながりを生むことができたのも、インスタグラムを始めてよかったと思えることの1つです」と中島さん。来年度からは施設の日常を伝えるだけでなく、SNSでの注目度の高さを生かし、地域の困りごとの解決にも貢献していきたいと話してくれました。

「たとえば地域で募集していることやイベントのお知らせなどをフォロワーの皆さんに発信したり、いろいろ

ろなことができるかと思っております。私たちのような施設は、地元の皆様のご理解やサポートがあつてこそ、もっと地域で親しまれ、愛される施設を目指していくためにも、さまざまなかたちで役に立ちたいと思っています」

SNSを通して新たなつながりを育み、たくさんの人たちを笑顔にしている特別養護老人ホームいちご。これからも積極的な発信を続けていくことで、笑顔の輪をさらに広げていってほしいと、中島さん。



職員の中にはインスタグラムでこの施設のことを知り、「自分もここで働きたい」と訪ねてきてくれた人もいます

文/藤原均 写真/特別養護老人ホームいちご提供、大串健治 デザイン/Beanstalk



巻頭特集

社会福祉法人誠正会 特別養護老人ホームいちご

Instagramのフォロワー2万人超！

SNSから広がる笑顔と地域貢献の輪

西尾市市子町(いちごちょう)にある特別養護老人ホームいちご。

Instagramのフォロワーは、実に23,000人。

利用者を幸せな気持ちにするだけでなく、SNSを活用して地域に新しいつながりを生み出す仕掛け人、中島良彦さん取材しました。



利用者の写真を投稿するときは、顔と名前が一致することのないように配慮。個人情報を見えないように気をつけています



利用者さんの自然な姿を伝えていきたいです

information

特別養護老人ホームいちご
西尾市市子町稲荷122
☎0563-55-3915

理事・施設長

中島良彦さん

何気ない10秒の動画が注目を集めるきっかけに

入所やショートステイ、デイサービスなど地域の高齢者に向けてさまざまなサービスを提供している特別養護老人ホーム「いちご」。インスタグラムに写真や動画を投稿すると、毎回1000から3000ほどの「いいね！」と多数のコメントが寄せられます。同所がツイッターやフェイスブック、インスタグラムといったSNSを始めたのは2017年。職

員のがんばっている姿を多くの人に見てもらいたいと思ったことがきっかけでした。

「高齢者施設や福祉施設は、働いていて楽しいことがいっぱいあるのに世間にはそれがあまり伝わっていません。そうした状況を少しでも払拭したいと思いました」と話すのは、理事と施設長を務める中島良彦さん。それまでもウェブサイトにブログによる発信はしていましたが、若いスタッフから「これからはインスタです」と勧められたことに背中を押さ

れたといいます。

当初のフォロワーは利用者の家族や同業者が中心。あまり大きな広がりはありませんでした。しかし、翌年の5月に10秒ほどの短い動画を投稿したことで状況が一変します。動画の内容は、クシを手にした利用者に中島さんが髪をいってもらっているという心温まるもの。投稿してすぐに「いいね！」が止まらなくなり、瞬く間に拡散されていきました。この出来事をきっかけにフォロワーが急増。動画の再生回数は、現在までに46万

回以上という驚異的な数字を叩き出しています。

利用者の笑顔を通して施設の日常風景を伝える

現在の投稿はInstagramが中心。ほぼ毎日のように利用者の笑顔や日常の何気ないコマをアップしており、投稿数はすでに1100件を超えています。すべての投稿に「見てると幸せな気持ちになれる」「グッツをつくってほしい」など、さまざまなコメントが寄せられるほか、フォロワーの中には遠方から施設見学に訪れ「ファンです！」と興奮して駆け寄る人もいます。

また、近くの飲食店などに外出したときやほぼ毎日行っているおやつづくりの様子も定期的に投稿。普段は忙しくて面会になかなか来られない利用者の家族から「元気な姿を見て安心できる」と好評です。